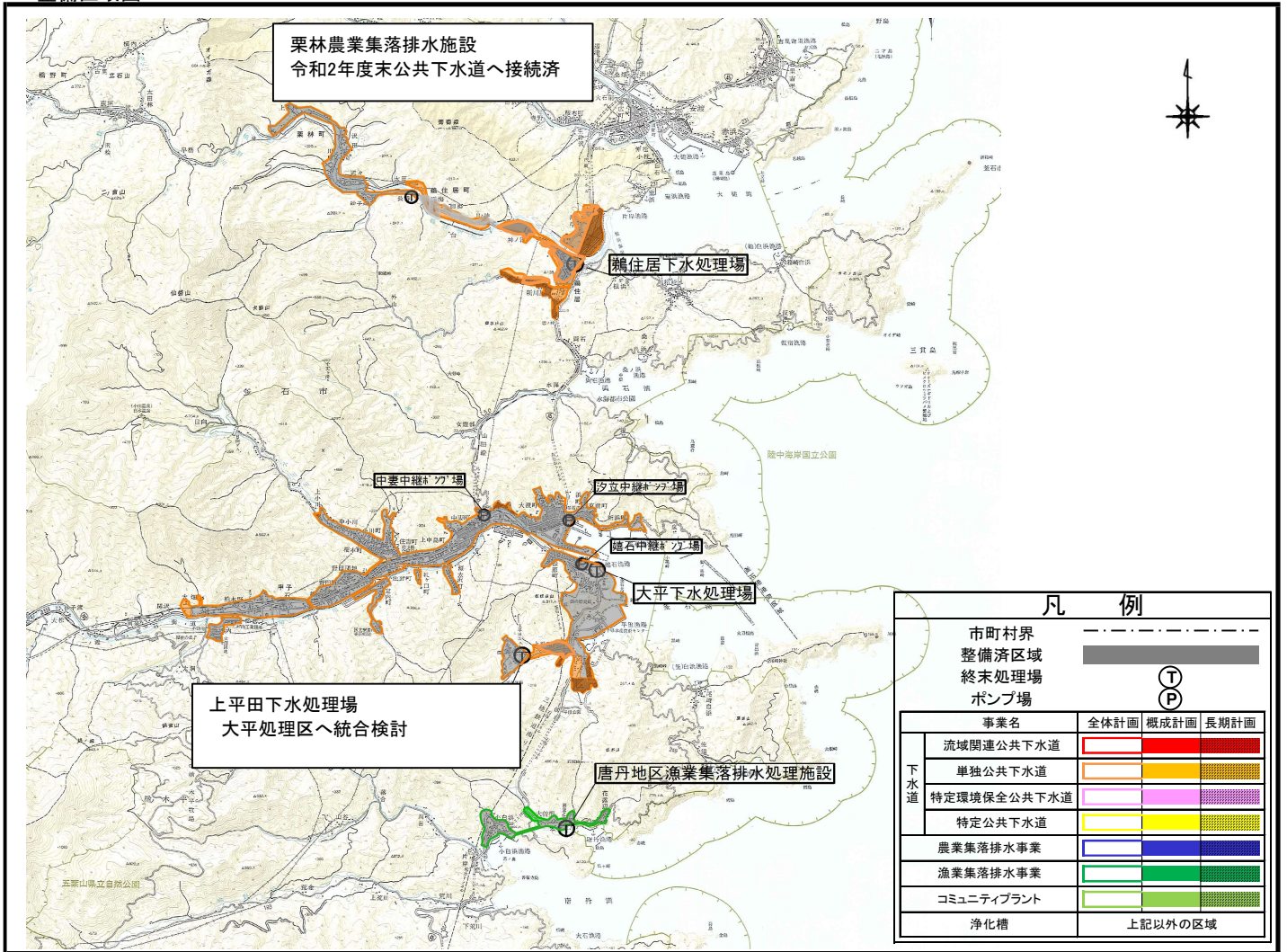


1. 期間設定

- (1) 目標年次 令和8年度(2026年)
- (2) 計画期間 平成29年度～令和8年度

2. 整備区域図



3. 整備計画

(1) 整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
施設整備	下水道	未整備地区の整備											
	農集排	整備済み(R2年度末公共接続済)											
	漁集排	未整備地区の整備											
	浄化槽	浄化槽(個人設置)											
実行メニュー (早期概成)	下水道	コスト縮減手法の適用											
	浄化槽	浄化槽設置整備補助金の活用											

(2) 目標値および概算事業費

項目	単位	期間	全体	(内訳)						早期概成手法の 具体的内容	
				下水道	集落排水施設		浄化槽				コミプラ
					農集	漁集	市町村 設置型	個人 設置型	その他		
現状	普及率	%	H27末時点	80.2	61.0	2.1	0.0	3.6	13.5	◆管渠整備時、地形特性に応じた低コスト手法を採用する。 ・道路線形に合わせた施行、浅層埋設、小型マンホールの使用など ◆広報等による補助制度の周知、水質保全の意識啓発により、浄化槽の普及を促進する。 ◆住民接統意向調査を踏まえた整備区域の設定。 ◆市単独事業費の最低限度に見合う額を要望。事業費を圧迫させる工法や低地部の施工を取りやめ、財源確保に努める。	
整備目標	水洗面人口割合	%	H27末時点	72.3	50.0	2.0	0.0	3.6	16.7		
	普及率	%	R8末時点	93.5	78.9		2.9	3.7	8.0		
概算事業費	水洗面人口割合	%	H28末時点	80.9	67.6		1.6	3.7	8.0		
	整備面積	ha	H28～R8	311.0	299		12.0				
実行メニュー	総建設事業費	百万円	H28～R8	2,561	1,986		150	425			
実行メニュー	コスト縮減手法を適用した整備実施				○		○				
	浄化槽設置整備補助金の活用				○			○			
	広報等による普及啓発				○			○			